

日曜日礼拝順序

2019年2月17日 午前11時 南部チャペル

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌90	“ここもかみのみくになれば”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マルコによる福音書1章9-15節	
讚美	賛美歌196	“うるわしきは 神のみとの”
説教	“御国の到来”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌215	“あしたのひかり ややあらわれ”
献金		下竹祐三郎兄
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“地上の回復”

“被造物は、実に、切なる思いで神の子たちの出現を待ち望んでいる。”
(ローマ人への手紙8章13章19節)

私は学生のころ、沖縄の離島を訪ねたことがあります。短い旅でしたが、見たこともない、想像もできないような透明な海の美しさを今でもはっきりと覚えています。当時は、その海がいつまでも存在すると信じて疑わなかったのですが、現在、世界中のサンゴ礁は危機に面しているようです。サンゴ礁は、熱帯魚など周囲の生態系に影響を与えているだけでなく、地球の温暖化を防いでくれていることを思うと、何としても存在し続けてほしいものです。

聖書の中に、環境問題という言葉は出てきませんが、心無い人間たちの罪により、被造物が苦しんでいることを、パウロが当時に、ローマ人への手紙8章に書き残しているのは驚くべきことです、それだけ、人間の罪というのは、今も昔も変わらないものなのでしょう。しかし、同時にパウロは、被造物の苦しみもこのまま続くのではなく、将来的に解放があり、希望があると教えています。被造物は主イエスのご来臨の時に癒され、地球の被造物、そして環境が、主イエスのご来臨により、贖われ、回復される望みをこの書は力強く語っています。

以前にもまして、地球の環境問題が、より多くの学者たちにより叫ばれているこのごろ、私たちは、主イエスによる地上の回復を心から望み、神の御国が到来される日のために、日々準備をしていきたいと思えます。(Scroggins 由紀)

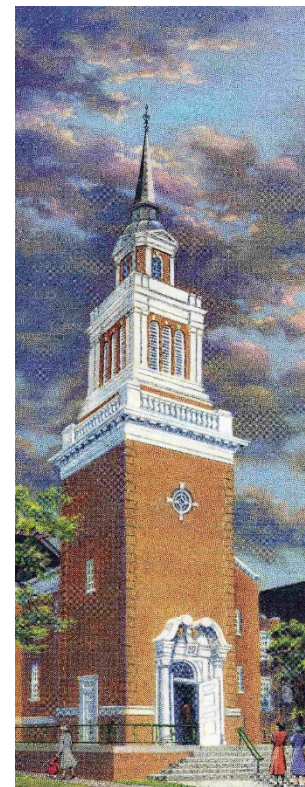
記事: 消息

— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

— 本日は、午後 2 時より恒例の Day of Remembrance が行われます。今回の講演は、日系活動家として著名なフレッドコレマツ氏の娘さんのカレンコレマツさんがスピーチをされます。会場は Chicago History Museum です。年々、より多くの人々が集う会になりましたが、近年の反移民、人種主義の論調に対して、日系人の歴史は非常に貴重なメッセージとなっています。今回は先着順に着席しますので、どうぞ早めに会場に到着できるよう、ご計画ください。

— 3 月 17 日はリトリートが前回と同じく Encounter point にて行われます。礼拝は午前 11 時からですが、場所は午前 10 時 30 分より開いていますので、早めに来られても大丈夫です。また、ランチも出ますので、どうぞごゆっくり親睦の時間をお過ごしください。日本語部メンバー以外で、出席をご希望の方は、由紀牧師までご連絡ください。参加費は無料です。



週報

第 3709 号

2019 年 2 月 17 日

発行: 2019 年 2 月 13 日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org